

臨時号

砧地域社協だより



世田谷区社協キャラクター
ココロ

発行:砧地域社協事務所
Tel:5727-6101
Fax5727-6103

～コロナがなんだ通信～ **8月**



社協職員もコロナを **吹** き飛ばす気持ちで
地域づくりを進めています!

コロナがなんだポイント①

生活福祉資金の特例貸付※1から安心できる生活へ!!

緊急小口資金の貸付相談で社協地区事務局(まちセン内)へ来た高齢者。
相談対応中に本人から「**独り暮らしで年齢的にも身体**の事が**心配**」と。
ご本人が**安心して生活**するためには何が**必要**・・・?
そこであんすこと連携※2した結果、あんすこ職員が定期訪問して経過をみていく
という事になり、ご本人は安心して自宅へ帰られました。

※1 コロナの影響で収入が減り、困っている方に社協が窓口となって貸付を行っています
※2 まちセン・あんすこ・社協の三者が一体となった“福祉の相談窓口”をまちセンに設置



◆世田谷区社協での貸付申請受付件数:約15,000件 ※R2.7月現在
(緊急小口資金:約7,000件/総合支援資金:約3,000件/住居確保給付金:約5,000件)

コロナがなんだポイント②

コロナ禍がきっかけで**地域活動**を始める**好機**に!!

コロナの感染が拡大するまでスポーツの指導者として勤務していた相談者。
しかし、感染が拡大するにつれ、勤務も自粛に・・・。そこで生活福祉資金の貸付
相談に合わせて「**ボランティア**でも構わないから**子ども**たちに自宅でも
出来る事を教えてあげたい」と。そこで、**貸付担当**(ぷらっとホーム)から



砧地域の**地区担当者**へ**バトンタッチ**!早速、地区担当者は
児童関連団体へ繋ぎ、現在、実現させる方向で企画中!!

サロン関連への支援例は裏面に続く



世田谷区 社会福祉協議会
● 支えあい ● 心をつなぐ ● 古い言葉



コロナがなんだポイント③

自粛中のサロン・ミニデイにも出来る支援を！！

- ❖ 団体の代表者などに**参加者**(特におひとり暮らしの方など)に対して電話などで**見守り**を依頼。当事者同士だからこそ得られる**安心感**が **Good!**
- ❖ 自粛中の過ごし方をインタビュー!皆さんの参考になれば、と**メルマガ**や**広報紙**で発信!!(例:遠回りして少し離れたスーパーに行っている。)
- ❖ 活動再開を望む団体に対して条件に合う形態を提案。(例:対局ではなく講義形式で行い、皆で知識を深める。)



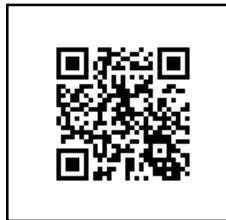
◆ 砧地域の5地区(祖師谷・成城・船橋・喜多見・きぬた)各地区で毎月広報紙(地区通信)を発行中!!&メールマガジンなどで各地区の活動情報を月2回配信中!

メルマガ

フェイスブック

世田谷区社協
ホームページ

せたがや福祉団体
情報サイト



**QRコード
読取りは
こちらから!**

繋がろう



見守ろう

きっとみんな不安を抱えているはず!
だからこそ、こんな時こそ、
繋がって・助け合って
乗り越えよう!!



電話で♪



郵便物や洗濯物が
そのまま



手紙や作品で♪



子育てに疲れてる?

